

進めよう

安全で安心して
学べる学校づくり

福岡 ACTION3!! アクション3



「福岡アクション3」は、県内全ての学校において、共通して実践できる取組を明確化し、不登校対策の重要性について理解を深め、きめ細やかな取組の充実を図り、不登校の課題の解決を目指すものです。

福岡 ACTION3!! アクション3

を全ての学校で実践しましょう!

「福岡アクション3」は、不登校対応の重層的支援構造（発達支持的生徒指導、課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導）に基づき、多くの学校で実践されている取組を3つのステージに整理し、各ステージに「3つのアクション」を設定しています。また、これらのアクションは次に掲げる3つの特徴を備えています。



1 **すぐできる**
具体的で、即実行できる

2 **必ずできる**
負担感が少なく、誰でも必ずできる

3 **みんなのできる**
組織的・計画的・継続的にできる

福岡 ACTION3!! アクション3

を基に、全ての教職員で取り組みましょう!

全ての児童生徒にとって、学校や学級が安全で安心して学べる居場所となるよう組織的に全職員で取り組む必要があります。また、児童生徒が不登校になったとしても、一人一人に応じた多様な学びの場、多様な学び方の支援ができる体制をつくるのが有効です。そこで、学校における取組を促進するために、「福岡アクション3」に基づき実践しましょう。

実態分析

1

不登校に関する自校の実態・課題を分析する。



共通理解

2

「福岡アクション3」について、全ての教職員で共通理解を図る。



合意形成

3

全ての教職員での合意形成の下、実践する。
●目標・指標・取組を明確に!

共通実践

4

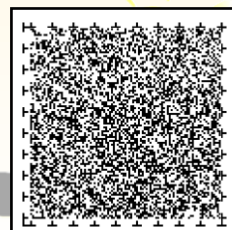
全ての教職員で実践する。
●ちょっとした打合せや情報共有を大切に実践しよう!
●小さな成果を探そう!
●うまくいかない部分は修正も検討しよう!

評価・見直し

5

指標の達成度に基づき取組について評価し、必要に応じて見直しを行う。
●自校独自の「〇〇学校アクション3」の策定を目指そう!

福岡県教育委員会



安全で安心して 学べる学校づくり

福岡 ACTION3!! アクション3

1 **すぐできる**
具体的で、即実行できる

2 **必ずできる**
負担感が少なく、誰でも必ずできる

3 **みんなのできる**
組織的・計画的・継続的にできる

ステージ1

発達支持的生徒指導

全ての児童生徒を対象とした
日常の支援のアクション

朝のアクション

- 児童生徒を笑顔で出迎え、挨拶
- 顔を見ながら笑顔で挨拶、言葉かけ

昼のアクション

- 児童生徒の頑張りをたくさん探して認める
- チャンスを見つけて、挨拶、言葉かけ

夕のアクション

- 児童生徒が教室から出る姿を見送る
- 教室を出る際には環境を整える
- 遅刻・早退・欠席者には、連絡を忘れずに



ステージ2

課題予防的生徒指導

兆候のある児童生徒への早期
発見・対応のアクション

1日目のアクション

- 欠席1日で様子をうかがう電話連絡を※
- 翌日の朝、笑顔で挨拶、言葉かけ

2日目のアクション

- 欠席2日で安心感を与える電話連絡を※
- 登校した際に、笑顔で挨拶、言葉かけ

3日目のアクション

- 欠席3日で家庭訪問し、保護者と話を
- 学年教員に報告、登校時には、みんなで見守り、チャンスで言葉かけ※



※児童生徒にとっては連絡が負担になることもあるため、日常から家庭と連携し本人の状況を把握しておくこと

ステージ3

困難課題対応的生徒指導

きめ細やかで継続的な支援の
アクション

分担のアクション

- 支援チームの編成、役割の明確化
- 不登校支援委員会等で情報、支援方針の共有を
- 短期(1か月程度)目標と役割分担、当面の具体策の決定

共有のアクション

- 当該児童生徒の小さな変化を観察・共有
- 継続的に、短時間の打ち合わせで共有

評価のアクション

- 「できないこと」より「できたこと」の評価を
- 教職員同士の前向きな声かけや励ましを

